

◎昭和45年度第8回理事会議事録(46.1.22)出席者:大石会長,斎藤副会長,羽田専務理事,浅間,石上,岩垣,岡田,吉川,後藤(幸),後藤(明),末沢,田中,長谷川,星,牧野,三浦,毛利,山本の各理事。議事録署名理事の決定:大石会長,羽田専務理事,三浦理事。
A. 報告事項: つぎの各項について羽田専務理事から報告がありました。1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会その他報告。4) 臨時評議員会報告。
B. 協議事項: 1) ECOR 日本委員会の設立について; 全米工学アカデミーの海洋工学委員会から, ECOR (Engineering Committee on Oceanic Resources) 設立の提案あり, これに対応して ECOR 日本委員会が設立される見込みであるが, 土木学会がこれに加入してほしいとの呼びかけがある旨, 羽田専務理事から説明があり, 討議の結果, 海洋開発に関して国際的情報を得ることは必要なことであるので, ECOR 日本委員会に参加することを決定した。2) 日本学士院会員候補者の推薦について; 日本学士院会員第5分科1名補欠の候補者を推薦することとし, その人選については, 会長, 副会長に一任した。3) 欧米主要空港システム視察団への協賛について。4) 委員の委嘱について

① 岩盤力学委員会

委員 佐々木博敏 東京電力
 藤田 武俊 電源開発
 宇野 一治 農林省
 鈴木 和也 国鉄

② 海岸工学委員会

委員 日下 宏 運輸省
 河島 寛 建設省

③ 海岸工学委員会編集小委員会

委員 首藤 伸夫 中央大学
 川口 毅 農林省

④ 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会

幹事 大沼 正郎 東北工業大学
 亀田 泰武 建設省

⑤ 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会

委員 飯塚 敏夫 建設省
 幹事 志水 茂明 同
 永末 博幸 同

⑥ シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会

委員 立石 俊一 建設省

⑦ 石油類パイプライン研究委員会設計専門委員会

主査 菅原 操 東京工業大学
 委員 秋山 成興 埼玉大学
 伯野 元彦 東京大学
 中村 英夫 東京工業大学
 山根 孟 建設省

高木 任之 自治省
 山口 豊生 新東京国際空港公団
 村井 享正 東京瓦斯
 石黒 健 新日本製鉄
 成田 陽郎 日本鋼管
 幸田 恵一郎 住友金属工業
 北谷 義郎 川崎製鉄
 都 淳一 国鉄
 田島 二郎 同

⑧ 石油類パイプライン研究委員会敷設専門委員会

主査 渡辺 隆 東京工業大学
 委員 石井 勇五郎 同
 松本 嘉司 東京大学
 西野 文雄 同
 原 慧 運輸省
 山根 孟 建設省
 高木 任之 自治省
 山口 豊生 新東京国際空港公団
 菅野 正弘 東京瓦斯
 石黒 健 新日本製鉄
 成田 陽郎 日本鋼管
 池田 俊雄 国鉄
 田島 二郎 同
 大井 一郎 同

⑨ 石油類パイプライン研究委員会敷設専門委員会溶接分科会

主査 石井 勇五郎 東京工業大学
 委員 松本 嘉司 東京大学
 西野 文雄 同
 原 慧 運輸省
 山根 孟 建設省
 高木 任之 自治省
 山口 豊生 新東京国際空港公団
 菅野 正弘 東京瓦斯
 成田 陽郎 日本鋼管
 稲垣 道夫 科学技術庁
 田島 二郎 国鉄
 大井 一郎 同

⑩ 石油類パイプライン研究委員会防食専門委員会

主査 岩佐 茂作 神奈川大学
 委員 田中 通雄 名城大学
 小林 豊次 科学技術庁
 山口 豊生 新東京国際空港公団
 西尾 宣明 東京瓦斯
 向江協公男 新日本製鉄
 樋口 久 日本鋼管
 酒井 友治 住友金属工業
 重野 肇太 中川防食工業
 星野 九平 日本防食工業
 滝原 幹夫 国鉄
 佐藤 靖 同

⑪ トンネルの合理的設計に関する研究委員会

幹事 飯塚 全 国鉄
 岩井 徳雄 同
 白井 慶治 同
 鈴木 和也 同
 高木 肇 同
 長 尚 信州大学
 土屋 敬 国鉄
 中村 一彦 日本鉄道建設公団
 福岡 祥光 国鉄
 松本 嘉司 東京大学
 益子 真之 建設省
 富田 尚彦 国鉄

⑫ 土木計画学研究委員会

幹事長 長尾 義三 京都大学
 委員 岩佐 義朗 同
 委員 大塚 友則 経済企画庁

菅原 操 東京工業大学
 鈴木 忠義 東京工業大学
 高橋 裕 東京大学
 武部 健一 日本道路公団
 中沢 武仁 建設省
 八十島義之助 東京大学
 山根 孟 建設省

委員兼幹事

倉島 収 同
 越 正毅 東京大学
 中村 英夫 東京工業大学
 山本 茂樹 建設省
 永井 靖郎 同
 幹事 市川 新 東京大学
 小野 日児 建設省
 河上 省吾 名古屋大学
 住友 恒 京都大学
 中村 良夫 東京大学
 花岡 利幸 山梨大学
 藤田 睦博 北海道大学
 森 康男 日本道路公団

◎各種委員会

(1) 石油類パイプライン研究委員会第5回敷設専門委員会(45.12.14)出席者: 渡辺主査, ほか14名。議事: パイプライン建設基準(案)(敷設関係)の検討。

(2) 論文集編集委員会第1小委員会(45.12.14)出席者: 田島主査, ほか9名。議事: 1) 前回小委員会報告。2) 査読報告。3) 新規受付原稿について。4) 土木賞候補論文の推せんについて。5) その他。

(3) 石油類パイプライン研究委員会第4回設計専門委員会(45.12.15)出席者: 関係者13名。議事: パイプライン建設基準(案)(設計関係)の検討。

(4) トンネル工学委員会(45.12.16)出席者: 藤井委員長, 加納幹事長, ほか19名。議事: 1) 第6回トンネル工学に関するシンポジウム報告。2) トンネル工学委員会の今後の研究活動の進め方について。3) 日本建築学会より依頼の「第6回トンネル工学に関するシンポジウム報告について」。4) 昭和45年度土木学会賞候補の推せん依頼について。

(5) アルミナセメント小委員会幹事会(45.12.16)出席者: 関係者7名。議事: アルミナセメント設計施工指針の逐条審議を行なった。

(6) アルミナセメント小委員会(45.12.17)出席者: 国分委員長, ほか10名。議事: 1) アルミナセメントコンクリートに関するシンポジウム開催について。2) アルミナセメントコンクリート施工指針(案)の逐条審議。

(7) 国鉄貨物設備アスファルト舗装設計に関する研究委員会第4回幹事会(45.12.17)出席者: 南雲幹事長, ほか

14名。議事：交通量と舗装厚について。

(8) 石油類パイプライン研究委員会第4回防食専門委員会(45.12.17)出席者：岩佐主査(ほか15名)。議事：パイプライン建設基準(案)(防食関係)の検討。

(9) 沈埋トンネル分科会(45.12.17)出席者：大平委員長(ほか11名)。議事：沈埋トンネルの設計施工法に関する研究報告書設計編原案審議。

(10) 岩盤力学委員会第1分科会クラフト班幹事会(45.12.18)出席者：広瀬主査(ほか5名)。議事：ダム基礎岩盤のグラウチング施工指針(案)の原稿の検討。

(11) 衛生工学委員会環境問題小委員会幹事会(45.12.18)出席者：関係者5名。議事：環境問題小委員会の運営につき打合せを行なった。

(12) 海外活動委員会幹事会(45.12.18)出席者：関係者3名。議事：1) 前回幹事会報告。2) 今後の予定。3) 英文年報について。

(13) 土工学ハンドブック改訂に関する会議(45.12.18)出席者：長浜出版委員長(ほか23名)。議事：1) 現ハンドブックの改訂について。2) 改訂の場合の方針について。

(14) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(45.12.19)出席者：岩井委員長(ほか9名)。議事：琵琶湖の将来水質に関する調査報告書のとりまどについて。

(15) 視聴覚教育委員会第3小委員会(45.12.19)出席者：長谷川主査(ほか2名)。議事：視聴覚教育実施調査アンケートにつき打合せを行なった。

(16) 原子力土木委員会立地部会立地一般分科会(45.12.22)出席者：関係者12名。議事：1) 原子力発電の開発とその立地条件について。2) 立地一般分科会の研究課題の検討。

(17) シールド工法小委員会鋼製セグメントの規格化に関する研究分科会(45.12.22)出席者：村上主査、山本副主査(ほか12名)。議事：1) 前回議事録の確認。2) 打合せ報告。3) 試算結果の報告と本計算設計条件その他について。

(18) 会誌編集委員会(45.12.22)出席者：千秋委員長、服部幹事長(ほか16名)。議事：1) 経過報告。2) 受付論文審査。3) 特集審議。4) その他。

(19) 文献調査委員会文献目録編集小委員会(45.12.23)出席者：関係者5名。議事：文献目録編集につき打合せを行なった。

(20) 海岸工学委員会第3回幹事会(45.12.26)出席者：岩崎委員長、堀川幹事長(ほか5名)。議事：1) 議事録の確認。2) 第18回海岸工学講演会開催について。3) 昭和45年度土木学会賞候補推薦について。4) 土木学会誌の掲載原稿について。5) 講演会論文集の販路拡大について。6) アンケートの集計結果について。7) 今後の委員会の活動について。

(21) 岩盤力学委員会第1分科会地質調査班打合せ(第8回)(46.1.8)出席者：広瀬主査(ほか5名)。議事：地質調査に関する解説書原稿の検討。

(22) 文献調査委員会(46.1.8)出席者：小林委員長(ほか10名)。議事：1) 会誌56巻3号登載抄録について。2) 紹介記事について。3) 解説記事について。4) 委員会活動について；a) 文献目録小委員会について、b) 文献抄録について、c) 文献分類項目について。

(23) 衛生工学委員会幹事会(46.1.9)出席者：関係者5名。議事：1) 第7回衛生工学研究討論会司会者の選定。2) 来年度委員会構成について。

(24) 会誌編集小委員会(46.1.12)出席者：服部幹事長(ほか8名)。議事：1) 経過報告。2) 受付論文審査。3) 会誌56巻5号編集。4) その他。

◎その他

(1) 第3回日本地震工学シンポジウム(1970)第6回運営委員会(46.12.16)出席者：福岡委員長(ほか10名)。議事：1) 第3回日本地震工学シンポジウム(1970)の報告(開催収支等)。2) 討論集の作成について。3) その他(次回幹事学会ほか)。

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 在仙商議員会(45.11.26, クローバー)出席者：関係者30名。議題：本部理事定数について。

(2) 全国大会実行委員会第2回回財政部会(45.12.1, クローバー)出席者：関係者30名。議題：募金計画の件。

(3) 全国大会第1回実行委員会(45.12.8, セントラルホテル)出席者：関係者70名。議題：全国大会の実施について。

(4) 第8回昼食会(45.12.11, 事務局)出席者：関係者16名。

(5) 全国大会実行委員会第3回回財政

部会(45.12.16, クローバー)出席者：関係者31名。議題：募金のランク決定について。

(6) 全国大会部長会議(45.12.18, 事務局)出席者：関係者7名。議題：全国大会の実施計画について。

(7) 全国大会実行委員会講演部会(45.12.18, クローバー)出席者：関係者17名。議題：全国大会講演の実施計画について。

(8) 見学会(45.12.25)参加者：東北大学学生30名。見学先：釜房ダム、仙台市浄水場、仙台飛行場、閑七大橋

(9) 全国大会実行委員会見学部会(46.1.12, 事務局)出席者：関係者14名。議題：見学の実施計画について。

(10) 役員会(46.1.12, セントラルホテル)出席者：関係者47名。議題：1) 45年度行事について。2) 全国大会の準備経過について。

◎関西支部

(1) 和歌山県における開発に関する講演会(46.1.11, 和歌山県民文化会館)共催：土木学会関西支部、和歌山県建設技術協会、和歌山県土木部

題目と講師：

- 1 開発理念としての成長と福祉
和歌山大学教授経済学部 吉田界三
- 2 紀の川をめぐる諸問題について
建設省和歌山工事事務所長 井沢健二
- 3 黒潮国体開催の年を迎えて
和歌山県国体局次長 福田一郎

映画：2題

参加者：320名

(2) 海外事情講演会(46.1.18, 好文俱樂部)

題目と講師：

- 1 イギリスの都市計画について
大阪市総合計画局 橋本孝正
- 2 海外の公害対策—水質汚濁を中心として—
京都大学助教授工学部 井上頼輝

参加者：48名

(3) 会員懇親会(46.1.18, 好文俱樂部)

参加者：36名(内招待関係12名)

(4) 第6回幹事会(46.1.12, 大阪市開発公社)出席者：岡田幹事長(ほか20名)。

(5) 職員フル制度運営委員会(第2回)(46.1.8, 土木学会関西支部)出席者：建設コンサルタンツ協会、土木学会などから関係者7名。

(6) 庶務・会計担当幹事会(第3回)(46.1.20, 土木学会関西支部)出席者：関係者10名。

(7) 土木学会賞候補推薦委員会(第

2回) (46.1.12, 大阪市開発公社) 出席者: 岡田幹事長, ほか 12 名。

(8) 第56回騒音振動委員会 (46.1.

19, 土木学会関西支部) 出席者: 庄司委員長, 島山幹事長代行, ほか9名。

(9) 騒音振動委員会 幹事会 (第52

回) (46.1.19, 土木学会関西支部) 出席者: 庄司委員長, ほか4名。

編集後記

弥生3月に入り厳しかった冬の寒さもやわらぎ、春の訪れを告げる桜だよりも南の国からちらほら伝わってくる今日この頃です。

今月は「'70回顧と展望」を特集しました。学会誌に対する読者のアンケート調査によると、特集号のなかでは「回顧と展望」はあまり好評ではなく編集委員一同苦笑した次第ですが、しかし、本特集はわが国の土木界の動向や土木技術の現状をコンパクトにまとめてあるので、他分野に対して土木活動を広くPRしたり、外国にわが国の「土木」の現状を簡潔に紹介したり、また、土木専攻の学生に対する教材とするなど結構利用価値が高く、かつその役割も大きいと思うのですがいかがでしょうか。

今回の編集にあたっては、全編にわたりより読み易くするためしきりやすい表記方法を取り入れるように努力しました。また、全体の構成は前回と同様ですが、建設機械編に工法を、都市計画編に地域計画を加え、さら

に編名を若干変更するとともに、大きな社会的問題となっている「環境問題」を新たに加えました。各編の内容については、今回はとくに研究開発の状況、省力化、電子計算機の利用状況を重点的に取り扱うよう心がけました。

国土総合開発計画や海洋開発などの大型プロジェクト達成のための研究開発の必要性、豊かな国民生活の実現を図るための環境整備の促進、若年労働者の不足や労働者の高齢化など、労働力確保のむずかしさ——とくに労働条件の厳しい土木界では深刻な問題であります——を克服するための省力化対策など、私たちのまわりには緊急かつ慎重に取り組まなければならない問題が山積しています。

特集「'70回顧と展望」の発行を機に、これらの社会的問題に対する認識を深め、土木界および土木技術の発展の礎としたいものです。

(鈴木庄二・記)

新潟地震震害調査報告 A 5・904 10 000 円 個人会員特価 9 000 円 (〒 250)

コンクリート・ライブラリー案内

- | | |
|---|---|
| 3. 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例 700 円 会員特価 600 円 (〒70) | 21. パウル・レオンハルト工法設計施工指針 (案) 500 円 会員特価 450 円 (〒80) |
| 10. 構造用軽量骨材シンポジウム 500 円 会員特価 400 円 (〒70) | 22. レオバ工法設計施工指針 (案) 700 円 会員特価 650 円 (〒80) |
| 14. 第2回異形鉄筋シンポジウム 1 100 円 会員特価 900 円 (〒90) | 23. BBRV 工法設計施工指針 (案) 900 円 会員特価 800 円 (〒80) |
| 15. ディビダーク工法設計施工指針 (案) 700 円 会員特価 650 円 (〒80) | 24. 第2回構造用軽量骨材シンポジウム 1 100 円 会員特価 950 円 (〒80) |
| 17. MDC 工法設計施工指針 (案) 700 円 会員特価 500 円 (〒80) | 28. コンクリートの品質管理に関する基礎研究 200 円 会員特価 180 円 (〒50) |
| 18. 現場コンクリートの品質管理と品質検査 700 円 会員特価 550 円 (〒80) | 29. フレシネー工法設計施工指針 (案) 1 100 円 会員特価 1 000 円 (〒80) |
| 20. フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発錆に関する長期研究 500 円 会員特価 450 円 (〒50) | |